



平成 20 年 7 月 22 日

各 位

会社名 株式会社 メ ッ ツ
代表者名 代表取締役社長 山口 雅幸
(コード番号 4744 東証マザーズ)
問合せ先 業務管理部長 中村 直樹
(連絡先 03-5771-4188)
<http://www.metscorp.co.jp/>

「平成 21 年 3 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）」について（参考資料）

当社は、本日「平成 21 年 3 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）」を発表いたしました。業績の概要、各事業の進捗および配当方針は下記のとおりとなります。詳しくは同発表資料をご参照くださいますようお願い申し上げます。

1. 第 1 四半期の業績について

当社において売上比率が高いリアルエステート事業にて、当第 1 四半期での販売用不動産の売却がなかったため、売上高は 107,465 千円(前年同期比 1,456,981 千円の減少)となりました。それに伴い営業損失は 72,755 千円(前年同期比 525,883 千円の減少)、経常損失は 88,397 千円(前年同期比 515,101 千円の減少)となり、また、繰延税金資産(※)の取崩しの影響もあり、当四半期純損失は 142,126 千円(前年同期比 399,597 千円の減少)となりました。なお、1 株当たり当四半期純利益は△291 円 36 銭となります。

2. 各事業の進捗について

＜リアルエステート事業＞

当第 1 四半期において収益規模の拡大に大きく貢献してきたリアルエステート事業において、販売用不動産が交渉先との諸条件が折り合わず売却または開発するに至りませんでした。これは現状の日本経済および不動産市況を鑑み、中長期的な視野から当社経営にとって、同じく株主の皆様にとってどのような売却・開発が最も有効かを念頭にいれ、交渉を進めた結果であります。引き続きこの考えに基づき、交渉を進めてまいります。

＜バリューアップ事業＞

セキュリティシステムの導入は福岡営業所開設により新規顧客の開拓が好調に推移する一方、当事業の中心となる関東エリアでの導入についてはマンション等レジデンスの建設・着工減少による受注減があったため、総合的に導入件数、導入単価は微減となりました。この他、不動産賃貸売上については堅調に推移しております。また、汎用性の高いセキュリティシステムソフトとなるカレイドスコープ、当社の ASP 技術を生かした ASPPOS システムの開発・試験運用についても順調に進んでおります。

※繰延税金資産について

繰延税金資産の取崩し（損益計算書上の法人税等調整額）が、前年同四半期と比べ大幅に増加しております。

その理由は、前期に計上された繰延税金資産がその計上原因となった未払事業税の納付により取崩されたこと、ならびに当第1四半期において上記業績のとおり純損失を計上したため未払事業税の発生が少額であり繰延税金資産の計上が抑制されたことによるものです。

ただし、今期業績予想においては平成20年4月発表の内容から変更を行っておりませんので、当期の過程段階における一時的な要素と考えております。

3. 配当について

当社は株主各位に対する利益還元を経営の重要な課題の一つとして位置づけております。

中期的な業績動向を考慮に入れながら、各期の業績に対応して配当額を決定し、配当を安定的に継続していくことを目標としております。

今期においても不動産市場等事業環境は依然厳しい状況が続いておりますが、平成20年4月1日に発表しましたとおり、1株当たり1,200円（うち第2四半期配当600円）、配当総金額585,360千円を予定しております。当社は不透明感が増している不動産市場の中で事業運営を行っていくため、現時点においては不確定要素を内包する事業計画であり通期業績予想の達成が困難となる可能性もありますが、その場合においては配当原資として資本剰余金を取り崩すことにより配当金の支払いを維持していく予定でおります。

当社の配当時期は第2四半期末日、期末日を基準とした年2回を予定しております。

※注意事項

本リリースで述べました今期業績の推移見通し及び今後の事業展開につきましては、あくまで計画段階であるため、様々な要因により、変更する可能性があります。

以上